

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2024年 1月 29日

事業所名：あさぎり音楽堂児童デイサービス

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	国の指定した以上の基準スペースを確保している。	はい・・・13 どちらともいえない・・・1 いいえ・・・0 わからない・・・0	児童の安全に配慮したスペースの確保と環境整備を、引き続き行ってまいります。
	2 職員の適切な配置	職員の基準を満たし運営を行なっている。求人募集も行っており、人員は拡充傾向にある。	はい・・・13 どちらともいえない・・・0 いいえ・・・0 わからない・・・1	職員の基準は満たしており、今後も職員体制を維持しながら、より手厚いサポート体制を提供できるように、求人・採用活動を継続して行っていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	児童の特性を踏まえた環境やスケジュールの構造化、視覚支援等を行い、適宜改善を行っている。	はい・・・13 どちらともいえない・・・0 いいえ・・・0 わからない・・・1	利用児童が認知、理解しやすい環境の構築を、引き続き行ってまいります。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	机の消毒、デイ ルームの清掃を行い、構造化された空間を提供している。児童の興味関心に沿った療育用品を導入し、揃えている。	はい・・・13 どちらともいえない・・・1 いいえ・・・0 わからない・・・0	引き続き、感染症等のリスクを鑑み、感染予防対策研修や消毒清掃活動を行い、念入りの感染対策を心がけていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	事業所内での職員間ミーティングにおいて具体的な目標を設定し、都度見直しを行っている。法人全体においても同様に、短・長期的な目標設定のもとPDCAサイクルを回して運営されている。		日々のミーティングにおいて、各職員が発言のしやすい風通しの良さを心がけてまいります。より合理的な業務の実践を進めていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	法人全体として事業継続力強化計画認定への取り組みを行っており、防災・減災に努めたガイドラインの策定を行った。		現状評価の通りになりますが、外部評価等の連携を今後さらに深めていく予定です。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	全職員がレポート提出必須の虐待研修等を定期的に行うほか、音楽療法研修、外部研修等に積極的に参加し、朝礼等を通じて各職員へのフィードバックを行っている。		それぞれの職員の課題、目標、専門性に合わせた研修を検討し、実践します。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6か月に一度、個別支援計画書を見直し、保護者様へ児童のデイでの様子の報告をし、今後の支援に対するニーズをヒアリングしている。		引き続き、ご家庭や相談支援事業所との連携を行い、ご自宅での様子や学校での様子を伺った上で、長期目標や短期目標につなげていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別支援計画では療育・音楽・製作の3分野において個別に支援目標を立て、保護者との面談時に現状の振り返りの上で、必要性に応じて新たに課題設定を行いながら計画書を作成している。	はい・・・28 どちらともいえない・・・0 いいえ・・・0 わからない・・・0	ひきつづき、各児童のニーズを鑑みながら、個別活動の内容、集団活動の内容等、客観的にわかりやすく明記していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	身辺自立、社会性訓練、コミュニケーション等の観点から、療育・音楽・製作における目標設定を行っている。計画書内で各目標への具体的支援方法の明記を行っている。		実際の利用回数、内容も加味しつつ、保護者面談等の情報共有の上で、個々に合った目標を立て支援してまいります。

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画を基に支援を行っている。職員間ミーティングを行い、利用者の特性、保護者様からのニーズ等の情報共有を行い、支援内容を統一しながら、支援を行っている。	はい・・・14 どちらともいえない・・・0 いいえ・・・0 わからない・・・0	利用者様並びに保護者様のご意見を伺いつつ、個別支援計画に基づき、個々に合った必要とされる支援を立て、日々の振り返りを行いながら、引き続き実施していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員ミーティングによって活動プログラムを決定している。また、音楽スタッフの専門的意見をもとに、音楽療法のプログラムを都度立案して実施している。		公式LINEや連絡帳等でさらに詳しく一日の療育活動の予定・結果がわかるよう、工夫し改善して行きます。また、弊社内の他事業所との連携も密にとり、より効果的な療育方法の開発にも取り組んで参ります。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇においてはクリスマスコンサート、夏祭りや初釜など、季節感覚に応じたイベントを実施している。また、できる限り同じ生活リズムを提供して、各児無理のない活動となるよう心がけている。	はい・・・13 どちらともいえない・・・0 いいえ・・・0 わからない・・・1	画一的な活動の繰り返しにならないように、クッキング体験や外出など、変化のある活動の提供を重視して、職員間ミーティングを行ってまいります。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	プログラムの計画段階において、固定化しないように工夫を行っている。また、利用者の特徴と状況に合わせて療育内容を検討するミーティングも毎日行っている。		画一的な事の繰り返しにならないように工夫して行きます。音楽の時間も、様々な楽器を取り入れながら、常に新鮮な体験が出来るように心がけていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	児童が来所するまでに、その日の担当児童・療育内容を職員間で確認している。		当日の利用児童の予定を明確にし、どの職員が見てもすぐに児童毎に必要な支援に対しての準備物等、分かるよう掲示し活動に臨めるように目視管理を徹底して参ります。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日のケース記録の記入、内容の確認を徹底している。児童の変化や様子をケース記録へ記入し、セキュリティ処理されたシステム上で職員がいつでも閲覧できるようにしている。		セキュリティ管理されたサーバー上にケース記録等を行い、職員が都度記録状況、内容の確認を行い、問題があればすぐに職員間共有を行います。こちらの体制を引き続き継続して参ります。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	グループチャット上で業務の共有化をしている。業務日報にて記録も行なっている。ケース記録内容も含めて職員間での意見交換を行っている。		全事業所がクラウドシステム等、ICT技術を活用して必要な情報を共有しています。法人内における併用先事業所との間でも、リアルタイムに児童の様子等が把握できるネットワーク構築を行っています。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月ごとのモニタリングを行い、計画書の見直しをし本計画へと繋げている。		年2回(6ヶ月に1度)を基本に、モニタリング・個別支援計画書の作成を引き続き行い、支援の見直しを実施しています。また、その進捗を全事業所間で報告し、共有、管理体制も継続して実施してまいります。
1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	相談支援事業所から連絡により、サービス担当者会議への参加を行っている。		管理者と支援員が出席、又はリモート参加等も活用し、引き続き参画して参ります。	

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当する児童がいない。		該当する児童がいない。
	3 （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当する児童がいない。		該当する児童がいない。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童の担任の先生からの要望があれば、見学訪問の受け入れをしている。送迎時等にて学校の先生方と情報交換を行うなど連携を行っている。		必要に応じて、ご家族・学校・当施設で連携を取り、児童を取り巻く環境の状況等に配慮した、適切な支援内容を提案しながら、より充実した支援が可能となる様努めてまいります。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	保護者からの要望があった際は、情報の提供を行っている。		引き続き、担当者会議への依頼があれば出席し、情報共有を行っています。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要な児童については都度連携を行っている。職員を選抜して研修の参加も積極的に行っている。		外部研修により積極的に参加し、研修内容、資料の共有を引き続き行ってまいります。リモートでの研修結果報告会を行い、職員間での研修内容の共有を行っています。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は提供がありません。	はい・・・5 どちらともいえない・・・2 いいえ・・・3 わからない・・・4	地域の福祉イベントへの参加については継続して行なっていきます。音楽を通じて様々な場面での交流を持てるように、連携を図っていきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	イベントごとに地域の商店と交流するプログラムを企画している。地域老人会の体操会の開催場所提供もしている。	はい・・・5 どちらともいえない・・・2 いいえ・・・3 わからない・・・4	当施設のスペースを活用した地域老人会による体操活動等の活動を来年度も継続してまいります。今後、利用児童との交流の機会も持ち、開かれた事業運営に努めてまいります。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学時に支援内容を説明している。利用者負担金についても説明の上、書面でお渡ししている。	はい・・・13 どちらともいえない・・・1 いいえ・・・0 わからない・・・0	契約時に児童発達支援管理者が書面を用いて説明を行っています。
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	基本的に、6ヶ月に一度、行っている。	はい・・・14 どちらともいえない・・・0 いいえ・・・0 わからない・・・0	6ヶ月ごとにモニタリングを行う際に、保護者間ミーティングを継続し、デイと家庭の様子を共有しながら支援計画を策定してまいります。より利用者様への効果的な支援へと繋げてゆけるように努めてまいります。	

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニングに関しては、法人全体として、今後の実施に向けた体制作りを行っている。 はい・・・5 どちらともいえない・・・2 いいえ・・・3 わからない・・・4	法人全体での体制づくりを推進し、また保護者様かに対してペアレントトレーニングの開催に向けて、準備しております。
	4	子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	モニタリング報告時の保護者間ミーティングを始め、送迎時や連絡帳、公式LINE等で、来所時の様子をお伝えしている。問題がある場合は、ご自宅へ連絡し、ご家族に相談している。 はい・・・14 どちらともいえない・・・0 いいえ・・・0 わからない・・・0	送迎時に普段の様子をお伝えする、問題があれば直接児童発達支援管理者や療育主任がご自宅へ電話連絡をし、保護者様との情報共有を今後も行ってまいります。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて随時面談や電話等で相談を受けている。学校との連携をとる場合もある。 はい・・・14 どちらともいえない・・・0 いいえ・・・0 わからない・・・0	必要に応じて電話、リモート、面談を通じて支援しています。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	法人全体として、今後の実施に向けた体制作りを行っている。事業所としては、各行事毎に保護者間の交流の機会を設置している。 はい・・・2 どちらともいえない・・・3 いいえ・・・5 わからない・・・4	ペアレント・トレーニングも含め、必要に応じて保護者会の開催について検討いたします。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	重要事項等説明書に苦情相談窓口を明記している。直接苦情があった際は、対応マニュアル策定のもと、迅速な対応を心掛けている。 はい・・・8 どちらともいえない・・・0 いいえ・・・0 わからない・・・6	契約時に苦情窓口の説明をし、苦情等の当施設への直接の連絡があれば、速やかに対応しています。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	ご家庭、学校、相談支援事業所等の共有情報を基にして、個々のニーズに即したコミュニケーション手段によって意思の疎通を図り、実施している。 はい・・・14 どちらともいえない・・・0 いいえ・・・0 わからない・・・0	視覚支援、環境整備、行動療法、音楽療法等の対応で、他者に伝える事が苦手な児童の支援を行い、それらに必要な研修の実施も行ってまいります。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	書面で配布をしたり、ホームページで行事予定を更新している。連絡帳、公式LINEにも必要に応じて記載している。 はい・・・10 どちらともいえない・・・0 いいえ・・・2 わからない・・・2	ホームページの定期更新や、LINEでの発信、またSNSの活用を推進してまいります。より詳細に事業での様子が伝わる様、書面案内も活用してお知らせしてまいります。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報のファイル資料は、鍵付きロッカーにて保管している。ケース記録はセキュリティ処理されており定期的な保守のもと維持されている。 はい・・・12 どちらともいえない・・・1 いいえ・・・0 わからない・・・1	個人ファイルは鍵の掛かる棚に保管し、管理業務に携わる職員以外の他者が見れないようにしています。ITを活用したシステムについてもセキュリティ対策を実施しております。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアル作成し、緊急時の対策に取り組んでいます。 はい・・・8 どちらともいえない・・・2 いいえ・・・1 わからない・・・3	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しております。随時改定、職員や保護者への周知徹底を継続して参ります。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回、地震(津波含む)、火災を想定した避難訓練を実施している。 はい・・・8 どちらともいえない・・・1 いいえ・・・0 わからない・・・5	年2回、必ず児童と職員で避難訓練(地震・火災)を実施し緊急時の避難の大切さを説明、避難場所の周知を行っています。

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年1回、全職員のレポート提出を義務付けた虐待研修を実施し、また心理学等の研修も随時行っている。		年1回必ず当施設内で虐待防止研修を行い、虐待への取り組みと職員間での意見を共有し適切な対応について話し合いを行っています。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	今まで該当なし。		事例がありません。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者から面談時にアレルギーの有無は確認し、アセスメントシートに記録している。個人情報として保管している。医師の指示書が必要な該当者はいない。		今まで事例がありませんが、今後、指示書を伴う食物アレルギーの児童が来所される事がありましたら、速やかにご家族・医師の指示の元、対応していきます。アセスメント情報に基づく利用者のアレルギー情報は一覧表にまとめ、管理し、職員に周知しています。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	職員間で情報の共有をし防止策の検討を行っている。ヒヤリハット報告書の作成は職務義務とし、記録保管を行っている。		ヒヤリハットは全事業所共有し、次に同じことが起こらないように再発防止に努めています。